

参議院議員 自民党

小野田紀美

国政報告レポート

令和7年8月発行 Vol.18
自由民主党岡山県参議院選挙区第二支部広報18号

きみ
レポ

GREETING • ご挨拶

夏の参議院選挙におきましては、大変厳しい状況の中にもかかわらず、地元の皆様にさまざまな形でお力添えを賜り心より感謝申し上げます。

おかげさまで、こばやし孝一郎候補当選させて頂くことができました。

皆様のお力により岡山県では自民党が議席をお預かりすることが叶いましたが、全体としての結果は自民党にとって大変厳しいものでした。これは、今の自民党のあり方が、応援してくださっている皆様に向き合えていないが故の結果であり猛省せねばなりま

せんし、あるべき自民党の姿を取り戻すべく抗い続ける覚悟です。衆議院での少数与党化に続き、参議院でも与党が過半数を割り込んでしまったことで、今後実現すべき様々な政策や法案の通過には大変な困難を伴う状況となりましたが、緊迫する内外の諸情勢の中で日本の今と未来を少しでも良くしていくことができるように、引き続き自民党の参議院議員として全力で仕事をして参りますので、地元岡山の皆様にも今後ともご指導を賜れますと幸いです。

小野田紀美



▲ 小野寺政調会長と共に外交も(米国コルビー国防次官と)

政調副会長を 務めています。

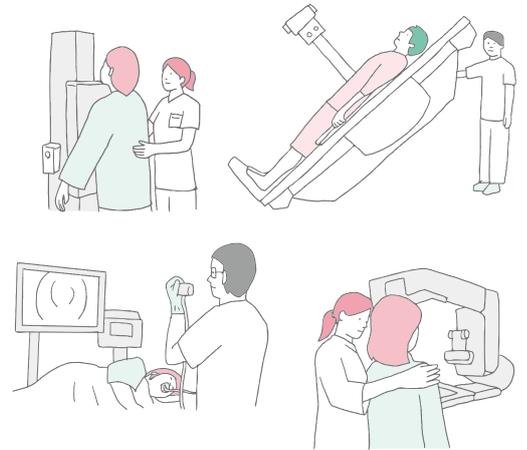
2期目の当選後、防衛大臣政務官を務め、その後外交防衛委員長を務めた後、今年の通常国会からは自民党の政調副会長を務めています。以前高市政調会長のもとで同役を務めていたので、2度目の政調副会長になります。与党として、全体の政策や閣法や議員立法の審査、各種提言など様々コミットしていかねばなりません。次期予算や政策の方針を定める「骨太の方針」に安全保障や外国人問題対応をはじめ重要な政策の展開をきちんと盛り込むこともできました。引き続きしっかり務めて参ります。

決算委員会 (厚労・法務行政)

がん検診のあり方

自治体のがん検診の中で何を受診するか、どのような方法をとるかは個人のリスクに合わせて選べるようにすべきではないか。

例えば子宮頸がん検診は性交経験のない方のリスクはほぼゼロであることをしっかり明記し、必要のない人にまで受診をさせないとか、マンモグラフィではがんの発見が難しい高濃度乳腺の人にはMRIでの乳がん検診を選択できるようにするなど臨機応変な検診のあり方を検討すべき。



無痛分娩の呼称について

無痛分娩は「無痛」ではない。世界では「麻酔を使った分娩」という呼び方をしている。日本で同分娩の割合が少ない理由は麻酔医の不足や費用の問題など様々あり、それも解決に向け努力せねばならないが、「無痛分娩を選ぶことは楽をしているから良くない」といった誤った圧力による断念も見受けられる。その誤った圧力を解決していくために、日本も各国の呼称と同様に無痛分娩ではなく「麻酔分娩」と呼び方を変えてほしい。

福岡厚労大臣



不起訴が多い問題

外国人の犯罪は不起訴が多く不起訴の理由も明らかにされていないという憤りが国民に広がっているが、外国人犯罪のみ不起訴が多いというのは正しい認識ではなく、実際は外国人犯罪の不起訴率よりも日本人の犯罪の不起訴率の方が高いのが現実。つまり、**外国人犯罪、日本人犯罪に関わらず起訴率が低いこと自体が重大な問題**。不起訴の理由を可能な限り明らかにするとともに、日本の治安を守るためにも起訴率を上げていくことが不可欠。そのため検察の人員と予算の確保を求める。



■ 被疑事件の罪名別起訴人員、不起訴人員及び起訴率の累年比較（令和元年～令和5年）

	令和元年（2019）			令和2年（2020）			令和3年（2021）			令和4年（2022）			令和5年（2023）		
	起訴(件数)	不起訴	起訴率(%)	起訴	不起訴	起訴率									
総数	282,844	576,677	32.9	253,444	511,021	33.2	244,425	492,096	33.2	227,597	479,092	32.2	238,145	507,221	32.0
刑法犯	112,861	426,313	20.9	104,274	362,456	22.3	100,890	350,493	22.4	96,284	342,379	21.9	104,688	353,023	22.9
不同意性交等	475	837	36.2	502	853	37.0	455	948	32.4	481	1,016	32.1	653	1,303	33.4
殺人	321	635	33.6	278	817	25.4	264	858	23.5	281	640	30.5	255	676	27.4
傷害	11,244	23,088	32.8	10,372	22,651	31.4	9,252	21,385	30.2	9,349	21,679	30.1	10,273	24,559	29.5
窃盗	32,162	42,323	43.2	31,229	40,307	43.7	29,428	38,115	43.6	27,413	35,718	43.4	30,373	37,602	44.7
強盗	337	421	44.5	370	394	48.4	244	481	33.7	211	359	37.0	317	377	45.7
公職選挙法	185	538	25.6	19	117	14.0	80	805	9.0	313	485	39.2	135	306	30.6
覚醒剤取締法	9,942	3,200	75.7	10,365	3,058	77.2	9,508	3,101	75.4	6,755	2,855	70.3	6,610	2,770	70.5

■ 来日外国人被疑事件 検察庁終局処理（令和元年～令和5年）

	令和元年（2019）		令和2年（2020）		令和3年（2021）		令和4年（2022）		令和5年（2023）	
	来日外国人終局処理人員	起訴率								
総数	16,251	45.0	16,380	45.6	14,969	43.6	13,748	42.5	17,512	41.6
刑法犯	6,919	43.3	6,863	43.6	7,064	39.9	6,564	40.4	7,932	41.1
不同意性交等	46	22.2	46	23.9	67	29.7	48	38.6	91	29.7
殺人	29	69.0	20	80.0	39	41.0	30	63.3	36	25.0
窃盗	2,957	52.4	3,014	53.8	2,810	49.0	2,710	48.6	3,471	53.0
強盗	31	70.4	79	77.8	69	66.2	55	44.2	1,858	61.8
覚醒剤取締法	698	74.4	497	77.3	580	70.8	439	63.2	573	65.0

※「不同意性交等」は、令和5年の刑法改正によりそれまでの「強制性交等」から名称が変更された

出典：検察統計年報（令和5年版）法務省作成資料及び法務総合研究所「犯罪白書」（令和2年～令和6年版）を基に小野田紀美事務所作成

入管体制の強化推進

観光での短期滞在も中長期の在留者も含み、外国人の数が急激に増えている。それに対して入管の職員が全く足りていないのではないかと。今の体制では、外国人の在留資格確認の不正も、不法滞在者の強制送還も十分に実行するのは難しいと考える。

入管DXと他省庁や自治体等との情報連携を早急に進めて、在留資格に必要な情報を自動フラグできちんと対応できるシステムと体制をつくるべきだ。



国会質問②

環境委員会

03.24 (予算委嘱審査質疑)

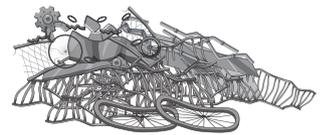
いしょく

動物保護

愛玩動物への虐待の定義が甘い。暑さに弱い犬種を日本の暑い夏に外飼いをしたり、地面が熱くなる季節に日中散歩させて肉球を火傷させたりというペットの身体に危害がある行為も明確に虐待だと定義して防いでいくべきではないか。

ヤード問題

不適正ヤードの問題が多発している。岡山の津山市においても外国人の運営するヤードから度々火災が起きており、近隣の環境影響への悪影響が懸念されている。千葉市など独自に条例を作り対応しているところもあるが、一部の自治体のみが対応すると周辺地域に逃避するだけで解決にならない。国として法律で不適正ヤードを規制すべき。



国会質問③

地方デジタル特別委員会

04.09 (大臣所信に対する質疑)

デジタルを活用したオーバードーズ対策

若者の命を削る危険なオーバードーズへの対策。今各薬局でアナログな手法で大変な手間をかけてもらい実施しているが、デジタル化で効率化確実化すべき。

コロナ禍で台湾がマスクの購入を制限できたように、マイナンバーカードを使用したオーバードーズ対策の実現に向け動いていただきたい。

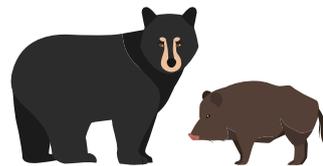
デジタル機器の安全保障について

国会の議員会館の中を縦横無尽に動いている大きな掃除ロボットを確認したら中国企業の製品だった。掃除のために館内中の地図をインプットされており、カメラもついている、常に通信が繋がった状態の機器への安全保障リスクは確認した上で導入しているのか聞いたらどこも安全の確認をしていなかった。その他のデジタル機器や、役務調達も含み安全保障リスクを確認する体制を早急に作るべきだ。



国会質問④

環境委員会 (鳥獣法改正質疑)



- ▶ 緊急銃猟を実施できる人材の現在の数はや分布、人材育成はどうなっているか、今後強化が必要ではないか。人材確保のためにも、危険を伴う緊急銃猟を行う方への金銭的支援が著しく低いことへの対策を早急に講じて予算づけを。
- ▶ 都道府県知事に対する応援の要求ができるが、例えばどんな応援を求められるのか。応援体制や仕組みが整っていない都県に対して国としての指示やサポートをしていくべきではないか。
- ▶ 実害を受けていない都会の論理で鳥獣対策が妨害されることがあってはならない。鳥獣被害の実態と対策の必要性を国民へ啓発してほしい。



国会質問⑤

05.14

地方デジタル特別委員会 (マイナンバー法改正質疑)



資格の電子確認

大きな国家資格証明書を持ち歩かなくても電子で資格確認が叶うようになったことは良いこと。しかしそれだけで終わることなく、資格が失効した際にリアルタイムで反映するとともに、死亡時の資格喪失手続きを遺族が急ぎ行わなくても良いように（現在は手続きが放置されている場合もあり正確な国家資格所持者数が把握できていない恐れもある）自治体の戸籍等と連携したリアルタイム資格処理を求める。

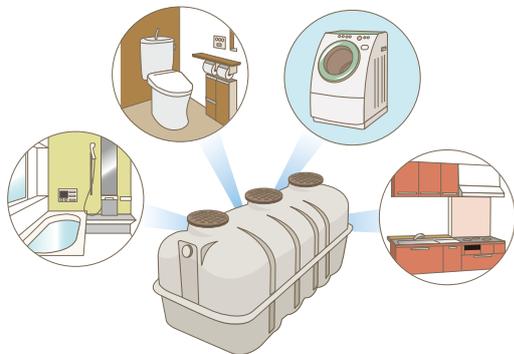


相続ワンストップ

国家資格に限らず、死亡後の相続にあたっては財産や土地、サブスクリプションなど遺族が把握困難な状況の中で各種の手続きをせねばならず遺族の大きな負担になっている。それと同時に身寄りのない単身者が増える中で、その役割を自治体が担わなければならない時、今のままでは負担を負いきれない。他国では様々な情報を遺族が一括で照会できる相続ワンストップサービスが行われている国もある。我が国も同様のシステムを急ぎ構築し実現すべき。

熱中症対策

熱中症警戒アラートや啓発活動を担当している環境省と、労働現場の熱中症防止対策を担当する厚労省と連携をしてなんとしても熱中症での犠牲者を出さない対策を推進してほしい。従業員を守るために多額の投資をして工場に空調をいれる企業と、負担を避けて危険な状態を改善しない企業が同じ土台で価格競争せねばならないのは問題だ。また、建設の現場においては炎天下を避けて命を守れる工期を確保した発注を行うことも必要ではないか。熱中症対策に対してより踏み込んだ形でのガイドライン等命を守る対策を。



汚水処理インフラについて

下水道破損による道路陥没の事案が多発している。インフラの点検や更新が難しくなってきた中で、下水道の維持をマストとするのではなく、人口などの実態に合わせた合併浄化槽などへの変換が必要な時がきているのではないかと。各都道府県の計画はどうなっているか。下水道が通っている方が都会で良いといった誤解をしっかりと解き、各所の環境や状況に合わせて適正な汚水処理のインフラを見直していくべきではないか。



太陽光パネルのリサイクルと国産化、経済安全保障

太陽光パネルのリサイクルに新しい技術が生まれている。新見ソーラーカンパニーもその一つ。太陽光パネルの大量廃棄時代が迫る中で、完全なリサイクルやアップサイクル資源循環は可能と考えているか。

現在太陽光パネルの95%が海外製でそのうち8割が中国製と言われている。前段のリサイクルや、ペロブスカイトなどを応援して、太陽光の海外依存状況を覆していかなければならない。国内生産太陽光パネルに向けた検討と課題は。

また、パネルを国産化してもインバーターが中国製で、エネルギーの遠隔遮断などの危険があることは海外の報道にもあった通り。物品だけでなく管理体制や役務も含めた経済安全保障リスクの早急な対応を求めます。





▲ 鏡野町合併20周年記念



▲ 京橋朝市



▲ みんなの吉川祭



▲ 竹のまち真備船穂商工まつり



▲ 瀬戸内国際芸術祭



▲ 高梁市新消防庁舎落成式



▲ 岡山ガチャにトライ



▲ 新見市政施行20周年



▲ 食&農マルシェ



▲ 酪農政治連盟懇談会



▲ 裳掛地区どんと祭り



▲ 最上稲荷節分



▲ 邑久町土地改良区総会



▲ みさキラリブランドオープン



▲ B&G美星海洋センター体育館



▲ 児島で餅つき



▲ 明治ごんぼう村フェスティバル



▲ 自民党岡山県女性局



▲ 沖田神社道通宮子供会陽

小野田紀美

国政報告オフ会やります!

今年も

国政報告オフ会 2025

offline meeting



開催
します!

昨年ご好評頂いた小野田紀美の国政報告オフ会、2度目の開催が決定いたしました。

日時 **11月2日 15:00~**
2025年

場所 岡山コンベンションセンター 3階
(ママカリフォーラム)

会費 無料

今回は小野田紀美のみが国政報告を行うカジュアルなオフ会となっております。講師などのゲスト参加はございません旨ご留意くださいませ。



ご参加のお申込みは事前にQRコードよりお願いします。



※先着順。定員に達し次第お申込みを締め切らせて頂きます。

石井先生お疲れ様でした!

7月29日の任期満了をもって石井正弘参議院議員がご勇退されました。岡山県知事として4期16年、参議院議員として2期12年、計28年にわたって岡山県の代表として力を尽くしてくださったことにあらためて感謝申し上げます。

国会においてはあらゆる省庁の政策を熟知し、より良い政策への改善を求め自民党の部会でも常に的確な発言をし続ける姿を心から尊敬して

おりましたし、岡山においても全県各市町村の隅から隅まで把握して、各地各業界の課題解決に向けて政策を前に進めていらっしゃる姿を頼もしく感じておりました。そんな、どこまでも真面目な方でありながら地域行事の際には運動会の来賓競技に全力で挑み、勝利したら全力で喜ぶなどその飾らないまっすぐな人柄のファンでした。今回ご勇退となることは本当に寂しいですが、参議院岡山選挙区裏表の議員として学ばせていただいた9年間を大切に繋いでいけるよう私もしっかりと頑張っ参ります。石井先生の今後の更なるご活躍をお祈りしております。



小野田紀美
事務所

岡山事務所

〒700-0927 岡山県岡山市北区西古松2-2-27
TEL:086-243-8000 FAX:086-243-8001

国会事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館318号室
TEL:03-6550-0318 FAX:03-6551-0318